

第262回郵政民営化委員会後 委員長記者会見録

日時：令和5年6月26日（月）17:00～17:07

方法：Web会議

○司会 それでは、時間となりましたので、ただいまから、郵政民営化委員会山内委員長によりまず記者会見を行います。

本日もウェブ方式の会見としておりますので、大変恐縮ですけれども、御発言されないときにはマイクをミュートにさせていただきますように御協力をお願いいたします。

会見の進め方ですが、冒頭、山内委員長に御発言をいただきまして、その後、質疑応答を行います。

それでは、山内委員長、よろしくをお願いいたします。

○山内委員長 郵政民営化委員会委員長の山内でございます。よろしくをお願いいたします。

本日の郵政民営化委員会の概要について御説明申し上げたいと思います。資料についてはお配りしていると思いますので、よろしくお願ひします。

本日は、日本郵政グループから日本郵政グループにおけるDXの取組状況でヒアリングを行ったところであります。

議事の内容については、配付資料で御確認いただければと思います。

日本郵政グループのDXの取組状況についてですけれども、少し意見と質問があったということでもありますので、御紹介したいと思いますが、代表的なもので、今回のDXの関係ですと、やはりグループIDが一つ大きなポイントになっているということでもあります。

質問は、DXの取組状況、グループIDについて、どの程度のIDを共通IDに統合していくのか、どういうふうにして、それをどのようにやっていくのか。こんなような質問が出たところであります。

これに対して、日本郵政からは、現在、日本郵便のIDがあります。それを新しい共通基盤にまさに移行しているところである。また、ゆうちょ銀行の通帳アプリ、それから、かんぽ生命保険のマイページがある。これらもデジタル上でのお客様との接点と考えているということでありました。各事業会社において、デジタル上で登録しているお客様に対してアプローチしていったら、そして、共通IDに取り込んでいくことを考えているということでもございました。

もう一つは、そういう形で、日本郵政グループでIDを統一するということでもありますけれども、この場合、例えばゆうちょ銀行とかかんぽ生命みたいな金融関係で、これは当然ですが、かなり厳しいセキュリティレベルが要求されるということですが、これに対して、日本郵便、郵便業務のセキュリティについては、セキュリティが弱くていいわけでは絶対ないのですけれども、金融のケースと、ある程度、差があることが考えられるのではないかということです。それをどう考えるかと、それから、使ったときに、統一のIDに

なって、金融系と郵便系で使い勝手がいろいろ変わってくるのかどうか。そんな問題もあるのではないかという御意見あるいは御質問が出たということでもあります。

これに対して、日本郵政グループからのお答えですけれども、ゆうちょ銀行・かんぽ生命は金融事業であるということで、必ず担保しなければならないセキュリティの領域があるということでもあります。そして、郵便局として一緒だから、金融事業も郵便事業も同じようなセキュリティレベルでつくり上げることは全く考えていないということでもあります。それらについてはしっかりと考えて対応していく。こういうお答えをいただいたところであります。

質疑は大体そういったところでございます。

次回の委員会については、まだ決まっておられません。

私からの説明は以上になります。よろしく願いいたします。

○司会 それでは、質問をお受けいたします。御質問がある方は御発声または挙手ボタンでお知らせいただければと思います。いかがでしょうか。

東洋経済さんですね。よろしく願いします。

○記者 資料の12ページに「お客さま同意も取得」とあるのですが、ここについては特に質問はなかったのか。顧客同意は結構難しいのではないかなという印象を受けたのですが、その辺は委員長はどのようにお考えでしょうか。

○山内委員長 もちろん、顧客同意は非常に難しいですし、それに顧客情報を、もちろん、個人情報保護の上でどこまでするかという合意を取るのには難しいと思いますし、また、逆に言うと、お客様がこれに乗ってくるというか、インセンティブみたいなものが必要なわけです。それについては質問が出て、もちろん、当然、そういうことを考えているが、詳細は決まっていないということではありました。

○記者 もう一点だけ、郵便のセキュリティレベルと金融のレベルは違って当然のようなお話だったということですが、当然なのでしょうけれども、そうすると、全体のセキュリティとしてはそれで大丈夫なのかなという心配も一方で出ると思うのですが、そのあたりはどのような話になっていましたか。

○山内委員長 さっきの質問はそういうことを聞いたのだと思っておりますけれども、もちろん、セキュリティレベルの低いほうに合わせるなどということはある得ないわけで、そうすると、金融で要求されるようなセキュリティレベルはもちろん確保されなければいけない。そのときに、郵便についての使い勝手とか、そういうことをどうするのかということですね。

○記者 それはこれからの課題みたいな。

○山内委員長 そういうお答えだったと思います。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

ほかにどなたかいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の記者会見はこれで終了とさせていただきます。

山内委員長、それから、御出席の皆様方、本日はどうもありがとうございました。以上で終了とさせていただきます。

○山内委員長 どうもありがとうございました。

以上